

**【資料10．認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：
Bセッション 熊本会場アンケート集計結果】**

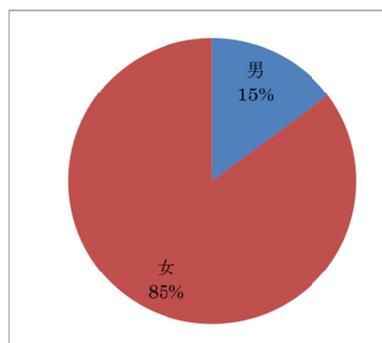
認定がん医療ネットワークナビゲーター研修会 アンケート集計 2015in 熊本

- 出席者数：27名
- 回収結果 回収数：27名 回収率：100
- 調査項目
 - * 各項目については、回答なしや複数回答における回答があり、必ずしも回収総数と合致しないものがあります。
 - * 実数はnとして掲載し、各比率はnを100%として算出しています。

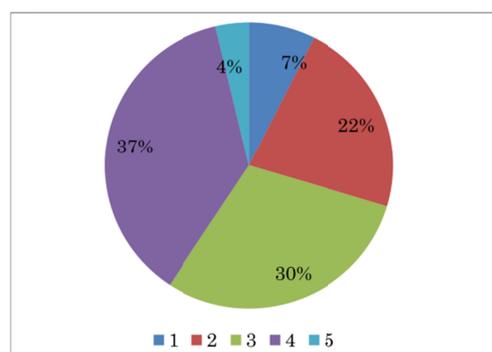
(pre)

I. まず、あなたご自身のことについてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

1.性別 1) 男 2) 女

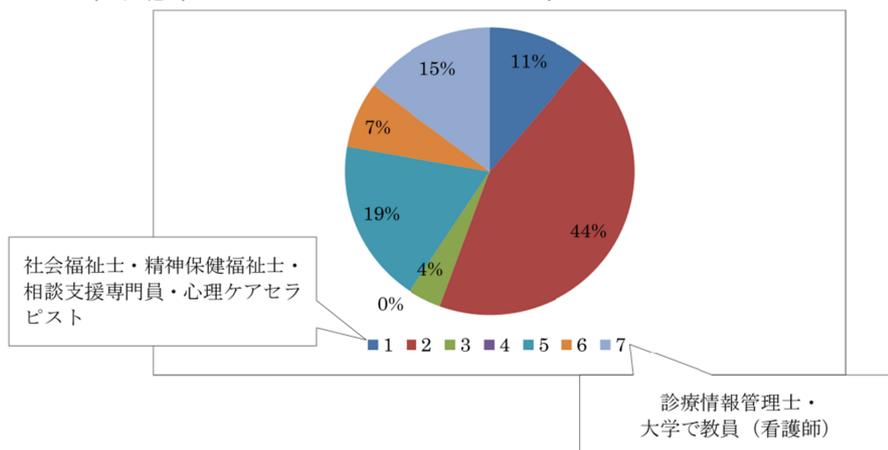


2. 年齢 1) 20-29歳 2) 30-39歳 3) 40-49歳 4) 50-59歳 5) 60歳以上



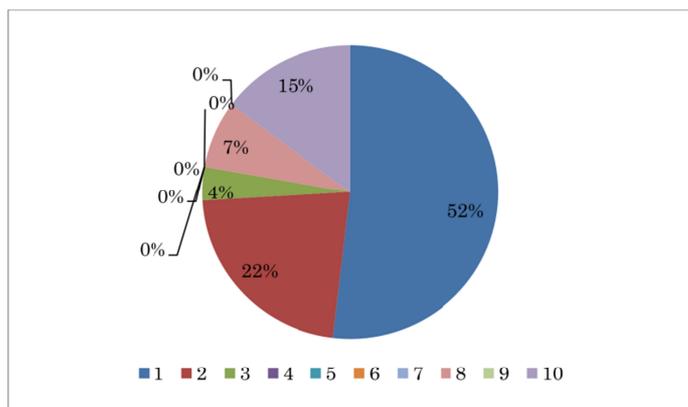
3. 背景

- 1) 福祉職（専門・認定資格があればその名称）
- 2) 看護師（専門・認定資格があればその名称）
- 3) 薬剤師（専門・認定資格があればその名称）
- 4) 心理職（専門・認定資格があればその名称）
- 5) 事務職
- 6) ピア
- 7) その他（）



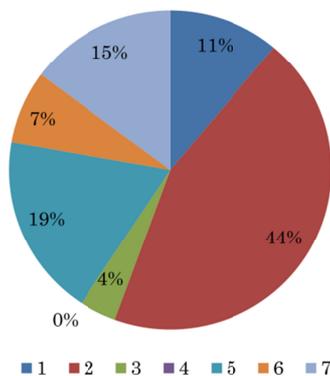
4. 所属施設

- 1) がん診療連携拠点病院
- 2) 病院（がん診療連携拠点病院以外）
- 3) 診療所
- 4) 訪問看護ステーション
- 5) 薬局
- 6) 地域包括支援センター
- 7) 介護福祉施設
- 8) 居宅介護支援事業所
- 9) 患者会
- 10) 患者支援団体



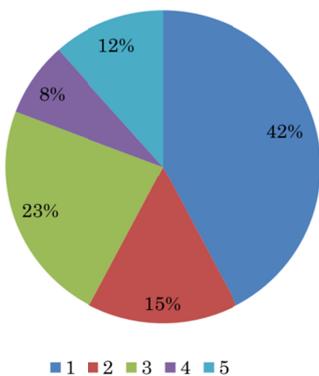
5. 上記所属施設での活動年数

- 1) 0 2) 2年未満 3) 2-4年未満 4) 4-6年未満 5) 6-8年未満
6) 8-10年未満 7) 10年以上



6. この一年間の活動のなかでがん患者の相談を受けた件数は何件ですか。

- 1) 0件 2) 1-9件 3) 10-49件 4) 50-99件 5) 100件以上



Ⅱ. がん患者相談支援に関する理解について伺います。該当するものを、それぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

(1.あてはまらない 2.あまりあてはまらない 3.どちらともいえない 4.ややあてはまる 5.あてはまる)

- 1.基本的なコミュニケーションスキルについて理解している
- 2.相談場面における適切な態度を理解している
- 3.相談内容を的確に把握することの重要性を理解している
- 4.相談内容に応じた支援の方向性を示すことの重要性を理解している
- 5.認定がん医療ネットワークナビゲーターの役割について理解している

Ⅲ. がん患者の相談を受けることに対する自信について、それぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

(1.全くそう思わない 2.あまりそう思わない 3.ある程度そう思う 4.かなりそう思う 5.非常にそう思う)

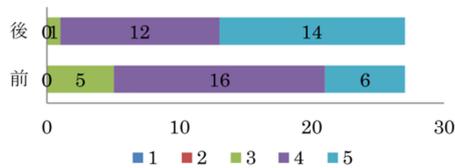
- 1.相談者と適切なコミュニケーションがとれている自信がある
- 2.相談場面における適切な態度をとれる自信がある
- 3.がん患者の相談を的確に把握できる自信がある
- 4.がん患者の相談に応じた支援の方向性を示すことができる自信がある
- 5.がん医療ネットワークナビゲーターとして活躍することに自信がある

Ⅱがん患者支援に関する理解について										Ⅲがん患者の相談を受けることに対する自信について									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5
5	4	5	4	5	5	5	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	3	4	3	3	3	4	3	4
4	4	4	4	5	5	5	5	4	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	3	3	2	3	2	4	3	3	4	4
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	4	4	4	3	4	3	4	3	4
3	4	3	3	3	4	3	4	3	4	2	3	2	3	3	4	3	3	3	3
4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2
4	4	3	4	4	4	3	4	3	4	3	3	3	3	2	3	2	3	3	3
4	5	3	5	4	5	3	5	3	5	3	3	3	4	2	4	2	4	3	4
4	5	4	5	4	5	3	5	5	5	3	4	4	4	3	5	2	5	4	4
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	3	2	4	2	4	3	3	5	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	3	2	3	3	3
3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	2	3	2	3	3	3	3	3	2	2
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4
4	5	4	5	4	5	4	5	4	4	3	4	3	5	3	4	3	4	3	4
4	5	4	5	5	5	5	5	4	5	3	3	3	4	3	3	2	3	2	3
3	4	4	4	3	5	4	4	5	5	4	4	4	4	3	4	4	4	3	5
4	5	4	5	5	5	5	5	4	5	3	4	3	4	3	3	3	3	3	3
4	4	3	4	4	5	4	4	4	4	3	4	3	4	3	4	3	4	2	4
3	3	3	3	3	4	3	4	3	4	3	3	3	3	2	3	2	3	2	3
4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3
5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	5	4	4	3	4	5	4	3	4	5	3	3	3	3	4	3	4	3	3

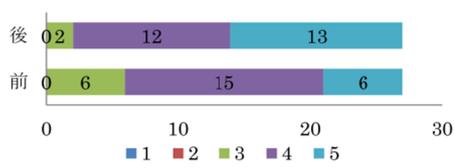
青がセミナー後のデータです

II. がん患者相談支援に関する理解について伺います。該当するものを、それぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。
 (1.あてはまらない 2.あまりあてはまらない 3.どちらともいえない 4.ややあてはまる 5.あてはまる)

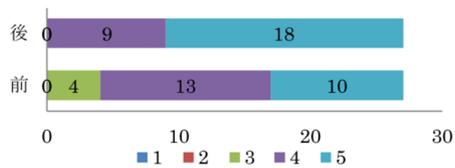
1. 基本的なコミュニケーションスキルについて理解している



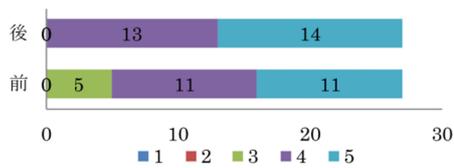
2. 相談場面における適切な態度を理解している



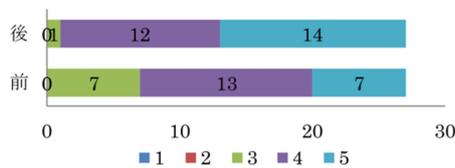
3. 相談内容を的確に把握することの重要性を理解している



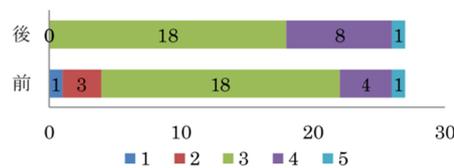
4. 相談内容に応じた支援の方向性を示すことの重要性を理解している



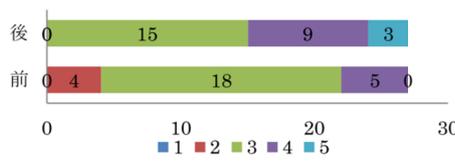
5. 認定がん医療ネットワークナビゲーターの役割について理解している



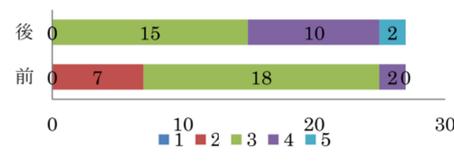
1. 相談者と適切なコミュニケーションがとれている自信がある



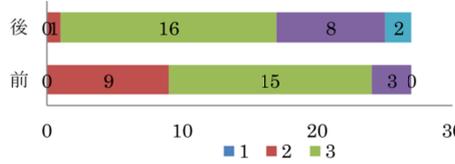
2. 相談場面における適切な態度をとれる自信がある



3. がん患者の相談を的確に把握できる自信がある



4. がん患者の相談に応じた支援の方向性を示すことができる自信がある



5. がん医療ネットワークナビゲーターとして活躍することに自信がある



IV. ナビゲーターの相談支援について、それぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

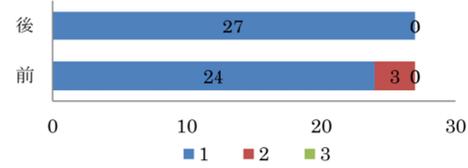
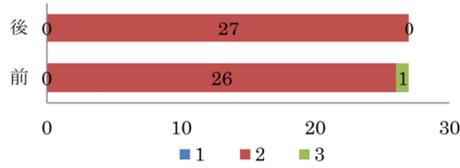
(1.正しい 2.間違っている 3.わからない)

1. ナビゲーターは、がん患者の家族からの相談は受け付けない
2. ナビゲーターは医療者とのよりよい関係づくりを支援する
3. 相談場面において、必ずしも自分の名前を名乗る必要はない
4. 話を聞くときは相手の目や顔を見る
5. 相談を受けている時は、沈黙が続かないよう会話を促す
6. 相談者の言動に対して否定しない
7. オープン・クエスチョンとは、Yes/No で答えられない質問のことである
8. 自分の知識が不十分な相談内容でも、責任を持って自分で判断する
9. 相談者の考えがナビゲーターの考えと違っていたら、考えを正す必要がある
10. 相談者の話を聞くときには、「相談内容の理解」と「感情の理解」の2点について理解することが重要である

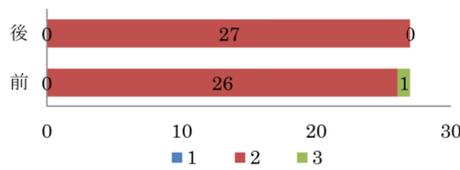
IVナビゲータの相談支援について																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	3	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1
32	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1

青がセミナー後のデータです。

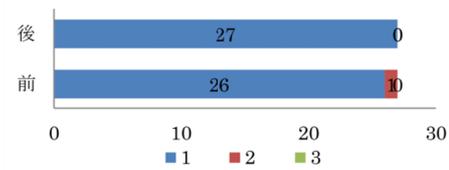
1.ナビゲーターは、がん患者の家族からの相談は受け付けない 2.ナビゲーターは医療者とのよりよい関係づくりを支援する



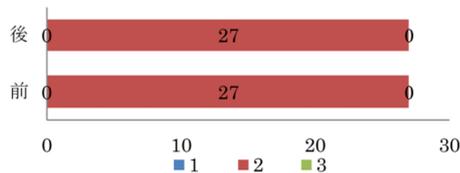
3.相談場面において、必ずしも自分の名前を名乗る必要はない



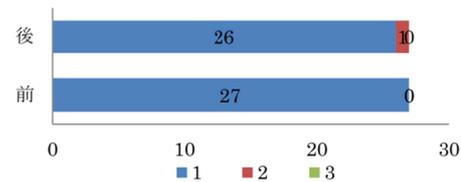
4.話を聞くときは相手の目や顔を見る



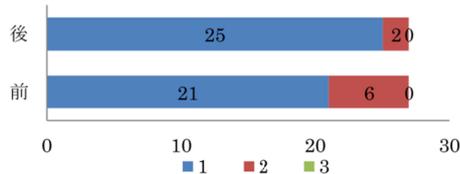
5.相談を受けている時は、沈黙が続かないよう会話を促す



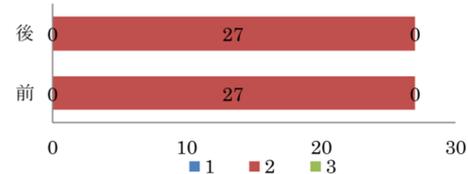
6.相談者の言動に対して否定しない



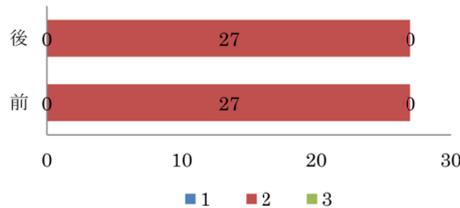
7.オープン・クエスチョンとは、Yes/No で答えられない質問のことである



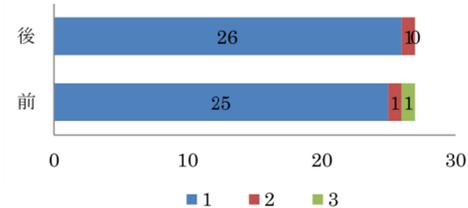
8.自分の知識が不十分な相談内容でも、責任を持って自分で判断する



9.相談者の考えがナビゲーターの考えと違っていたら、考えを正す必要がある



10.相談者の話を聞くときは、「相談内容の理解」と「感情の理解」の2点について理解することが重要である



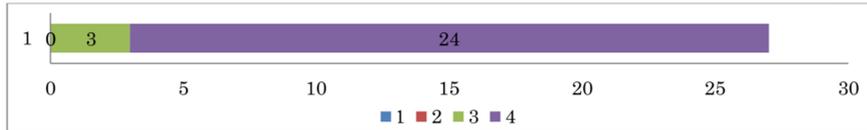
I. 今回の研修についてお伺いします。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。 (post)

1. 今回の研修は、ナビゲーターとしてのあなたの今後の活動に、どれくらい役に立つと感じましたか？

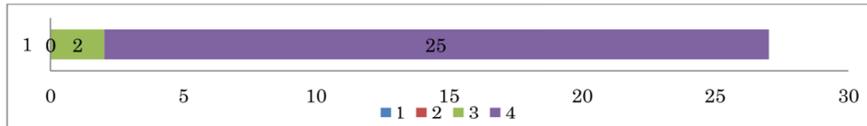
以下の各セッションとセッション全体についてお答えください。

(1) 役立たない 2) あまり役立たない 3) まあ役立つ 4) すごく役立つ)

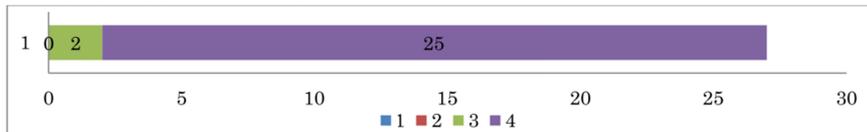
1-1 コミュニケーションスキル (講義)



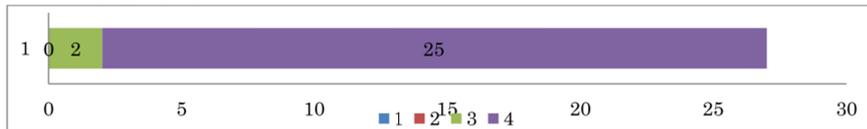
1-2 面談相談疑似体験 (ロールプレイ)



1-3 相談場面の検討 (グループ討論)

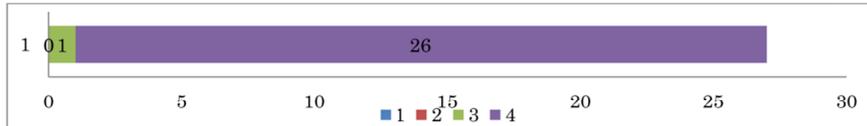


1-4 セッション全体として



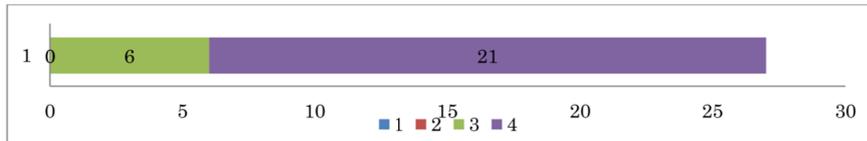
2. ファシリテーターやスタッフの動きはどうでしたか。

(1) よくなかった 2) あまりよくなかった 3) まあよかった 4) 非常によかった)



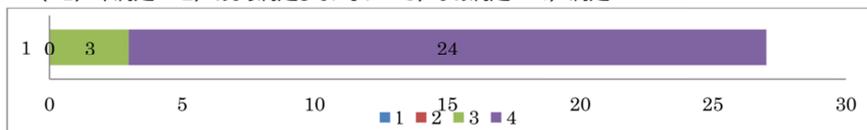
3. 同様の研修会が開催された場合、同じ立場の人に参加を勧めますか。

(1) 勧めない 2) あまり勧めない 3) まあ勧める 4) 必ず勧める)



4. 今回の研修会に全体としてどれくらい満足していますか。

(1) 不満足 2) あまり満足していない 3) まあ満足 4) 満足)



V. 今回の研修についてご意見・ご感想がございましたら、ご自由にご記入下さい。

- ・名古屋から参加させて頂きました。とても必要な役割だと思っておりますので、早く全国に広がるように願っています。明日からの活動に活かして行きます。ありがとうございました。
- ・つなぐ役割の必要性が学べました。人として看護職として、自分の感性やモチベーションを高めていかなければいけないと感じました。少しでも患者さんの声をキャッチでき、解決方法を導いていきたいと思いました。研修ありがとうございました。多くの気づきがありました。事案が短く感じました。
- ・本日研修をともに受けた方々と協力し、今後地域でナビゲーターとしての役目を担っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・相手の気持ちに共感する、共感していることを相手に伝えるということの大切さに気がきました。まずは相手が話せるような姿勢を持つ、一緒に考えさせてもらうことを意識していきたいと思いました。
- ・参加してみてとてもよかったです。相談者の立場に立つ姿勢が大切だと実感しました。自分自身のスキルを高めるためにも色んな研修に参加したいと考えています。
- ・研修会スタッフの方々大変お世話になりました。
- ・非常に役立つ内容をありがとうございました。スタッフ関係者の方々のご準備つきましても心より御礼申し上げます。
- ・色々な方たちの考えや、意見などが聞けてすごく勉強になりました。
- ・今回の研修で、学べたことがたくさんありました。この経験を次に生かして行きたいと思います。
- ・ロールプレイは初めてでしたが、大変勉強になりました。相談者の気持ちに寄り添う人になりたいと思います。
- ・ロールプレイを通して、日頃相談を受けているときに真が足りないなと思いました。今後にかかしていきます。
- ・座学だけでなくロールプレイやグループワークを通して、体験や振り返りを行うことが大切だと思いました。「つなぐ」という言葉から他職種との連携も大切だと感じました。
- ・ロールプレイやグループワークを通して実践的に学ぶことができました。今回の研修で様々な職種の課tがナビゲーターの資格を取られ勉強されていることがわかりました。今夏の研修会でお会いした方と今後も連携をとっていきたいと思います。
- ・とても役に立つ研修であった。
- ・あっという間に終わってしまいました。密度の濃い内容でした。ロールプレイなどは、繰り返しやっていくことも必要だと思いました。もし、ナビゲーターになっても時々そういう振り返りが必要だと感じました。
- ・有意義なセミナーでした。今後の看護に活かし、ナビゲーターして「つなぐ役」に徹することができるよう寄り添っていききたいと思います。
- ・石川県から参加しました。熊本に貢献できるわけではないので、参加させて頂いたことに感謝します。「ナビゲーター」について、理解しているつもりですし、全国に広く早く広めることを願っています。起床したら、コマーシャルしたいと思えます。実地研修も受けられるならと思いますが、九州では難しいです。むしろアクセスのよい群馬ならと思っています。
- ・有意義な時間を過ごせました。まずは聞く姿勢の重要性を改めて感じました。ありがとうございました。